

高齢者の食支援について

佐渡市生活支援体制整備事業の活動から



令和6年9月5日

みとせ会（弁当調理と配達）

- 高千・外海府地区の80歳以上の高齢者に、年3回～5回程度、冬場に弁当を作っています。
- 配達は地区の民生委員にお願いしており、訪問が難しい方にも弁当配達を通じて安否確認ができた、と喜ばれています。
- 圏域担当の2層SCの支援で、民間財団の助成を受けました。



八幡の茶の間（地域食堂）

- 八幡地区でしばらく休止していた茶の間について、2層SCと社協が相談を受けて、地元団体と連携・協力をして、新たな形で再開しました。
- 八幡小学校の児童や保護者、地域の高齢者が集まり、楽しく交流しています。
- 現在は地元団体が主体で
月1～2回開催しています。（不定期）



かないずみ地域食堂（地域食堂）

- 地域のボランティアグループが中心となって、お試しで開催しました。
- 今後の継続的な開催も考えています。
- 地域の子どもや高齢者十数名が参加しました。
- 地域の方から野菜などの食材の寄付を受けています。
- 圏域2層SCと相談しながら開催しました。



食に関する
地域の活動紹介
～住民主体の地域のつながり～

さわた食工房（弁当調理と配達）

- 毎週月曜日にスタッフで考えた献立に従い弁当40～60食を作り、販売しています。1個400円と安価で、食材の購入には工夫しています。対象が年金生活者で、値上げは難しいからです。野菜はスタッフが作っているものを寄付しています。
- 配達は大代表者が一手に引き受けており、安否確認を兼ねて手渡ししています。
- スタッフには売り上げの中から1回500円支払っています。



ふれあいひろば（地域食堂）

- 佐渡市健康推進協議会真野支部の自主活動として開催しています。
- 小学校の児童や保護者、地域の高齢者が集まり、食事の前後は多世代交流の場にもなっています。
- 学生も参加し、児童の遊び相手になってくれます。
- 不定期開催です。

